

第\_\_回演習課題：論理演算とトランケーション 提出年月日\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_限 学籍番号\_\_\_\_\_ 氏名\_\_\_\_\_

検索実行年月日\_\_\_\_\_

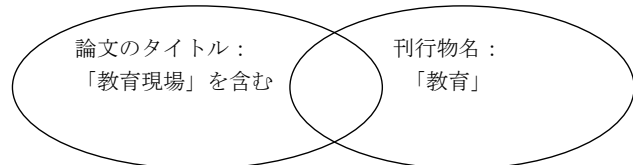
この演習のねらい：トランケーション（とくに中間一致（部分一致）と完全一致）を使うことに慣れる。実際に論理演算と論理演算の両方を使った検索を体験し、論理演算とトランケーションを組み合わせて使うことに慣れる。

CiNii Articles（以下、CiNii と呼ぶ） <http://ci.nii.ac.jp/> のサイトを Internet Explorer で開き、以下演習を行いなさい。

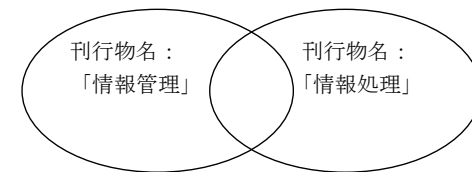
「詳細検索」のリンクをクリックすると、「タイトル」「著者名」などを指定した検索が行える。CiNii では「タイトル」、「著者名」、「著者所属」、「刊行物名」、「出版者」、「参考文献」など多くの項目は中間一致（部分一致）検索がデフォルト（標準設定）である。この場合、完全一致検索をしたい場合は「/」で囲む（例：「/科学/」）。

項目間の論理演算は必ず論理積（AND）となる（例：タイトル：「技術」、刊行物：「科学」と入力し検索した場合、タイトル：「技術」と 刊行物：「科学」の論理積（AND）検索をする）。項目内の論理演算の場合は、次の通りである。論理積(AND)の場合は「空白」でキーワードを区切る（例：「英語 多読」）、論理和(OR)の場合は「OR」を使う（例：「英語 OR 多読」）、論理差(NOT)の場合は「NOT」を使う（例：「英語 NOT 多読」）。完全一致検索と論理演算を組み合わせた検索も行える（例：刊行物名：「/科学/ OR 技術」）。詳細については、画面下部のヘルプを参照すること。

1. 著者名のクエリボックスに「岡本真」を入力して検索したら（ ）件ヒットした。黄色でハイライトされた著者のうち「岡本真」でないものには「岡本（ ）」「岡本（ ）」「岡本（ ）」「岡本（ ）」などがあつた。
2. 論文のタイトルに「教育現場」を含む論文が検索したい。タイトルのクエリボックスに（ ）と入力し検索する。ヒットした件数は（ ）件である。
3. 「教育」という刊行物に収録されている論文を検索したい（注：「教育」を含むではない）。刊行物名のクエリボックスに（ ）と入力し検索する。ヒットした件数は（ ）件である。
4. 論文のタイトルに「教育現場」を含み、かつ、「教育」という刊行物に収録されている論文を検索しなさい。タイトルのクエリボックスに（ ）と入力し、刊行物名のクエリボックスに（ ）と入力し検索する。ヒットした件数は（ ）件である。以下のベン図のヒットする部分を塗りつぶしなさい。



5. 「情報管理」という刊行物に掲載されている論文か、もしくは「情報処理」という刊行物に掲載されている論文が知りたい。刊行物名のクエリボックスには次のように入力して検索する：（ ）。（ ）件である。以下のベン図のヒットする部分を塗りつぶしなさい。



6. CiNii Articles で、「教科教育」という名前の刊行物に収録されている論文を検索したいと思って、刊行物名のクエリボックスに「教科教育」を入れて検索したところ、「教科教育学論集」や「教科教育学」などがヒットした。



なぜこのようなことが起きたか？「デフォルト」「中間一致（部分一致）」「完全一致」の3つの用語を必ず使って説明しなさい。

このような検索をしたい場合は刊行物名のクエリボックスに、（ ）と入力して検索する必要があつた。ヒットした件数は（ ）件であつた。